

白石城で楽しむ特別な時間

白石城本丸キャンプ「城キャン！」

5月29日、白石城本丸広場で白石城を眺めながらキャンプをするイベント「城キャン！」が開催されました。このイベントは、(公財)白石市文化体育振興財団が夜の白石城を活用したいと考え、全国的にも珍しい天守閣の下でのキャンプを企画しました。白石城でのキャンプイベントは初めての開催。この日は、県内外から15組32人が参加。白石城を眺めながらのんびり過ごしたり、持参した材料を調理して食事をしたりするなど、思い思いのキャンプを楽しんでいました。また、キャンプ中にできる体験として小枝トーチ作りや夜の天守閣を見学できる時間があり、普段とは違った白石城での時間を過ごしていました。

参加者は「白石城でキャンプをできるのは新鮮です。普段では体験できないぜいたくな時間を過ごすことができ最高ですね」と満足そうに話してくれました。



1_日没後にライトアップされた白石城 2_好きな枝を選んで小枝トーチ作りを楽しむ参加者 3_丸太を使ったスウェーデントーチをともし、神秘的な空間を作りました

地域の安全・安心を守るために

白石市総合防災訓練

6月13日、白石市総合防災訓練を実施しました。これは昭和53年の宮城県沖地震を契機に制定された「みやぎ県民防災の日」に合わせて実施されているものです。訓練は「午前8時に県南で震度6弱の地震を観測した」という想定のもと、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、避難所を開設した場合を想定し訓練を実施しました。

大鷹沢小学校では、地区の役員約30人が集まり、避難所入場時の検温訓練やパーティション、段ボールベッドの設置訓練が行われました。

また、白石第一小学校では給水設備設置訓練、断水時に使用できるマンホールトイレ設置訓練も実施しました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、限られた地区のみの実施となりましたが、今後もこうした訓練を通じ、災害に強いまちづくりを推進していきます。



1_パーティション設置訓練の様子 2_上下水道事業所が給水所を設置しました 3_設置されたマンホールトイレ

自分の身は自分で守る

第二幼稚園「防災紙芝居の読み聞かせ」

5月14日、第二幼稚園で白石市消防団女性団員6人による防災紙芝居の読み聞かせを行いました。この取り組みは、子どもたちに防災絵本や紙芝居を通して災害時の避難行動を学んでもらおうと毎年実施。この日は、71人の園児が紙芝居を楽しみながら防災への理解を深めていました。

班長の小野眞由美さんは、「防災への心構えを身に付けてもらい、自分の身を守る安全な行動につなげてほしいです」と話してくれました。



▲夢中になって紙芝居を見る園児たち

大きくなーれ！

南保育園でゴーヤの苗植え

5月20日、南保育園でゴーヤの苗植えを行いました。この取り組みは、緑のカーテンによる夏場の園舎の気温上昇抑制と熱中症予防のために毎年実施。この日は同園の年中・年長の園児35人が園舎南側と東側の園庭に40本のゴーヤの苗を先生の掛け声に合わせて「大きくなーれ」と声を掛けながら植え付けていきました。参加した園児は「ゴーヤを土に植えるところが楽しかった。宇宙まで大きくなってほしいです」と話してくれました。



▲ゴーヤの苗を植える園児たち

地域に伝わる伝統食の継承

放課後子ども教室「笹巻きづくり」

6月5日、旧斎川小学校体育館で白石第二小学校放課後子ども教室が行われました。この行事は旧斎川小学校で行われていた斎川地区の伝統行事体験を引き継ぎ開催しているものです。

この日は「笹巻き」を作る体験会が行われ、参加した27人の児童が地元スタッフの手ほどきを受けながら作りました。参加した児童は「い草で笹巻を縛る所が難しくて大変でした。家に持ち帰って家族みんなで食べたいです」と話してくれました。



▲地元スタッフが工程一つ一つを丁寧に教えてくれました